国際医療福祉大学三田病院
公開キャンサーボード



キャンサーボードとは、手術、放射線診断、放射線治療、化学療法、病理診断、及び緩和ケアに携わる専門的な知識、及び技能を有する医師その他の専門を異にする医師等によるがん患者の症状、状態、及び治療方針等を意見交換・共有・検討・確認等するためのカンファレンスです。

この度、当院と連携しています医療機関の医師の皆様にもご参加いただけるよう公開キャンサーボードといたしました。ご紹介いただいた患者様についての症例検討も行いますので、ご希望の場合はお申込み時にその旨を記入してください。

ご多忙とは存じますが、是非ご参加下さいますようお願い申し上げます。

連携医療機関限定　参加費無料

肝転移を伴う腎盂神経内分泌癌

2026年10月20日（火）17：00～17：30　泌尿器科症例

80歳男性。馬蹄腎の既往があり、食思不振、脱水の加療目的に入院した。左腎盂腫瘍、多発肝腫瘍およびリンパ節腫大を認めた。尿路奇形を有し、既に肝不全を呈していたことから、全身麻酔下での左腎盂腫瘍の組織生検は困難と判断され、肝腫瘍について消化器内科に生検を依頼した。病理組織学的検査の結果、小細胞癌と診断された。GATA3陽性であったことから尿路上皮由来と考えられたが、腎盂癌としては稀な組織型であった。
腎盂原発小細胞癌に対する標準治療は確立されていないことから、肺小細胞癌に準じてカルボプラチン＋エトポシド療法を施行した。1コース施行後、原発巣およびリンパ節の縮小を認め、治療効果が得られた。一方、治療経過中に発熱性好中球減少症および誤嚥性肺炎を発症し、呼吸器内科と相談しながら抗菌薬治療を行ったが、感染制御に難渋しバンコマイシン投与を要した。その後、好酸球増加を認め、悪性腫瘍に伴うものか薬剤性によるものか鑑別を要したため、血液内科に併診を依頼した。稀な腎盂原発小細胞癌に対する治療選択と治療経過、化学療法に伴う合併症への対応について考察する。

【対象】　当院と連携している医療機関の医師

【場所】　国際医療福祉大学三田病院　5階大会議室

※　ご紹介いただいた患者様についての症例検討も行いますので、ご希望の場合はお申込み時にその旨を記入してください

※　参加いただく際には当院の個人情報保護に関する事項を遵守していただくことが必要となります

【お申込み】

下記のURL、またはQRコードのお申し込フォームよりお送り下さい。

https://www.iuhw.ac.jp/form/mita/cancerboard.html

【申込締切り】　開催日前週の木曜日まで

お問い合わせ：国際医療福祉大学三田病院　総務課
東京都港区三田1-4-3　〈TEL〉03-3451-8121